

Studying Abroad in Finland



事業構想学群 事業プランニング学類 2年 舘澤雅子

留学先：フィンランド タンペレ応用科学大学

専攻コース：International Business

留学期間：2019年8月15日～2020年3月25日

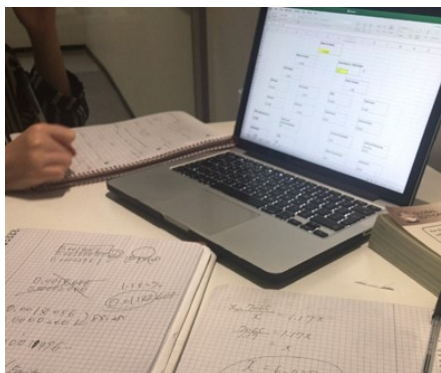
「行くなら今だ！」

私が留学を決断した理由、それはたった一つだけではありません。

小さい時からただ漠然と、外国そして英語を話すことについて憧れを持っていました。中学生の時に Taylor Swift の曲に一目ぼれし「この歌詞を自分の力だけで理解できたらなあ」とも思っていました。しかし、一番大きなきっかけはこの大学に入学したことだったように思います。第一志望の大学に入れず多少なりとも落ち込んでいましたが、宮城大学のパンフレットに「留学」という文字を見つけたとき、もしかしたらずっと漠然と思い描いていた夢を今なら実現できるかもしれない、チャンスがあるならやってみよう、と思うようになりました。それからグローバルコモンズで休憩をしながら留学情報を集めてみたり、国際センターの千田さんに「留学をしてみたい」と相談したり、英語担当の先生と会話練習ができるイベントに参加してみたりと一年生のころからコツコツと、興味の赴くままに過ごしていました。



1年生の後期に千田さんから協定校留学のお話を伺ったとき、「これだ！」と思いました。協定校留学なら正規留学よりも費用が少なく、実際に留学された先輩方もいるから安心だと思ったからです。宮城大学ではアメリカとフィンランドの二か国に計三校の協定校がありましたが、治安やその大学で勉強できることを考慮し、私はフィンランドのタンペレ応用科学大学への留学を希望しました。



授業の様子

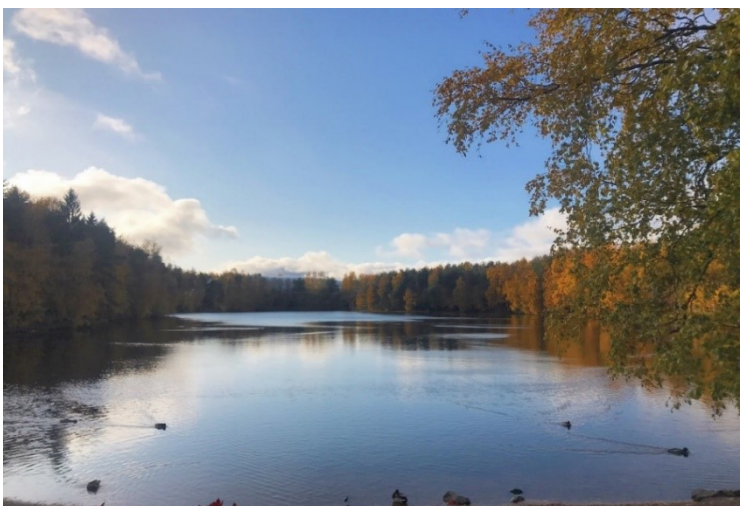
大学2年生で留学をした私にとって、留学先での授業が初めてのビジネスの専門授業でした。最初こそ苦戦はしましたが、慣れていけば楽しいもので自分の興味のある分野を学習できていることが嬉しくもありました。ビジネスコースでは毎授業、毎時間グループワークがあり、その都度出される課題をメンバーたちと一緒にこなしたのですが、意外とこれが楽しかったです。専門的な授業になればなるほど英語力を抜きにしても難しい課題が出たりするので、調べながら課題を解決していくスタイルが私は好きでした。また、このグループワークを通してメンバーたちと仲良くなることもできたりしたので一石二鳥でした。

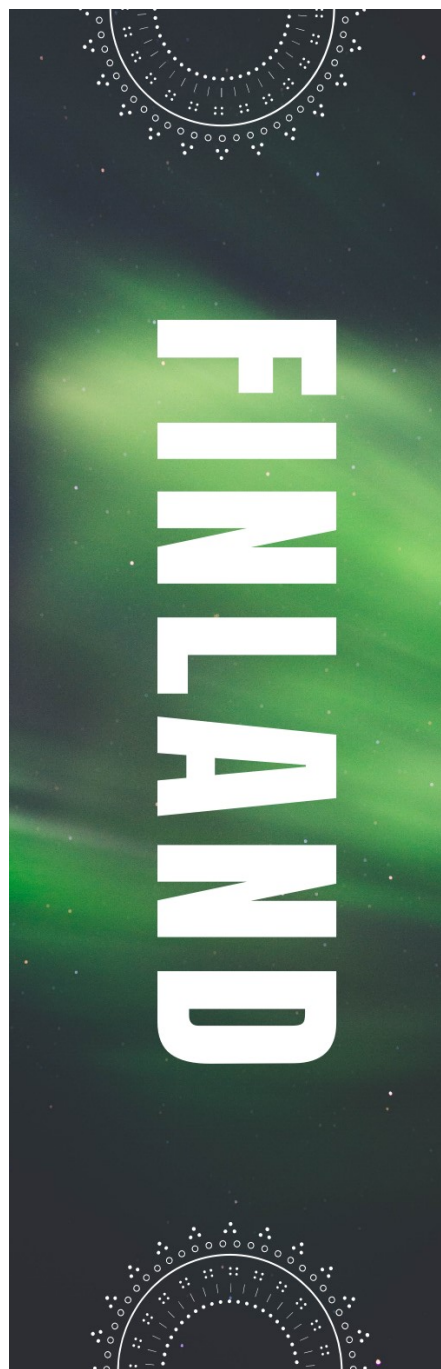
冬なんてへっちゃら

フィンランドの気候、と聞いて皆さんがイメージされる単語と言えば「極寒」ではないでしょうか？

確かに平年であれば冬は大雪で平均気温は-15度だそうです…個人的には北東北で過ごす冬とあまり変わらないように感じました。きちんと防寒対策をしていけばなんてことはありません。ただし、日照時間の短さはシャレになりません。空が明るくなるのは9:30過ぎ、お昼過ぎには暗くなってしまいます。太陽が出ている日にはもうお日様への感謝の気持ちが止まりません。

夏、秋は湿気が少なくとにかく過ごしやすいです。フィンランドは湖が多い国として有名なのですが、現地の人たちは湖に遊びに行き、飛び込んだりカヌーを楽しんだりします。湖に入らずとも周囲を散歩するだけで癒されます。





TOEIC に囚われるな

留学を考えている方のほぼすべての方が気になることのひとつが「英語力」だと思います。実際に私も留学前に帰国された先輩方に「留学前の英語力はどのくらいでしたか？」という質問をしました。私の場合、留学前はTOEIC650～700点くらい、英会話は中学生レベルの単語を組み合わせで詰まりながら話す程度でした。正直、留学をする前は「まあ何とかなるでしょ、他の留学生もこのレベルでしょ」と思っていたが現実はまるで違いました(笑)。冗談抜きで私以外の留学生はペラペラで置いてけぼり状態、ビジネスコースの授業はもちろんすべて英語、さらには専門用語まで出てくるなんて！

…とマイナスなことを書いてしまいましたが、ここで私が言いたいことは「実際何とかなった」ということです。そもそも幼稚園からインターナショナルなところで生活していました！長期留学経験があります！という人たち以外のスタートはいい意味でも悪い意味でもほぼ同じだと私は思っています。TOEICの点数にあまりとらわれすぎる必要はないことを、これからのみなさんにはお伝えしたいです。

留学先では「話す」ということがかなり重要だったように思いますが、侮ってはいけなかったのが「書く」ことです。この点については、特にこれから留学先で実技なしで学問を学ばれる方に対して声を大にしてお伝えしたいです。もちろん日常生活では人とコミュニケーションをとるためにスピーキング能力は必要ですが、学校で授業を受けその課題を提出するとなったときにはライティング能力が必要となります。ビジネスコースではグループで課題レポートをこなすことがほとんどだったのですが、英語ネイティブのイギリス人の友達に「ライティングスキル、凄いね！読みやすくてとても助かる」と褒めてもらったこともありました。私は高校までの英語の授業を受けただけの人間にすぎませんが、それでもその内容をきちんと学習しておいたことが役に立ったのだと思います。